

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	3	日常の身近な暮らしの安心の確保
主 な 取 組 内 容		
施策1	地域での防火・防犯対策	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<p>「教えて!ファイヤーマン」事業では、市立小学校203校で実施し15,000人の児童が受講。 「(仮称)札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」制定に向けた調査の実施。 スクールガードリーダー39名を委嘱し、1,791名をスクールガードとして登録。 「子どもの安全を地域で守る地域安全マップづくり事業」では、北区の小学校3校で地域安全マップづくりを実施。 「サイクリングロードモザイクアート事業」では、しらかばトンネル(厚別区大谷地2丁目)北壁58mにモザイクアートを作成。 豊平区地域安全ネットワーク会議(構成団体50団体)を設立するとともに災害図上訓練(DIG)等を開催。(3回、参加人数:住民109名)</p>	<p>「教えて!ファイヤーマン」事業を市立小学校203校で実施し15,000人の児童が受講。 「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」の制定。 スクールガードリーダー45名を委嘱し、1,995名をスクールガードとして登録。 「子どもの安全を地域で守る地域安全マップづくり事業」では、北区の4校で地域安全マップを作成。 「サイクリングロードモザイクアート事業」では、しらかばトンネル(厚別区大谷地2丁目)南壁58mにモザイクアートを作成。 豊平区地域安全ネットワーク会議の開催。災害図上訓練(DIG)等の開催(7回、参加人数:住民264名)。「豊平区防災マップ」の作成。</p>
	21年度(実績)	22年度(実績)
	<p>「教えて!ファイヤーマン」事業を小学校203校(市立202校、私立1校)で実施し、約15,000人の児童が受講した。 「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」に基づく広報啓発を実施した。 スクールガードリーダー45名を委嘱し、2,009名をスクールガードとして登録した。 「子どもの安全を地域で守る地域安全マップづくり事業」では、北区の2校で地域安全マップを作成した。 「サイクリングロードモザイクアート事業」では、モザイクアートに代わりタイルアートを上野幌トンネルに作成した。 豊平区地域安全ネットワーク会議(分科会、全体会議)及びセミナーを開催。災害図上訓練(DIG)・防災リーダー研修等を開催(DIG3回 参加人数:住民74名、防災リーダー研修4回 参加人数:住民161名)。</p>	<p>「教えて!ファイヤーマン」事業を小学校201校(市立200校、私立1校)で実施し、約14,500人の児童が受講した。 「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」に基づく広報啓発を実施した。 スクールガードリーダー50名を委嘱し、2,087名のスクールガードとして登録した。 「子どもの安全を地域で守る地域安全マップづくり事業」では、北区の3校で地域安全マップを作成した。 「サイクリングロードモザイクアート事業」では、21年度と同様にタイルアートを旭町トンネルに作成した。 豊平区地域安全ネットワーク会議(分科会、全体会議)及びセミナーを開催するとともに、災害図上訓練(DIG)・防災リーダー研修等を開催(DIG2回 参加人数:住民58名、防災リーダー研修4回 参加人数:住民161名)。</p>
施策2	日常の暮らしの安心	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<p>他政令指定都市、北海道・東北・新潟地区の衛生研究所の整備状況を調査し、札幌市衛生研究所はインターロック構造のドア構造や実験室内の作業を監視可能な設備が必要であることが判明。 民間建築物の所有者が行う吹付けアスベストの分析調査等に係る費用の一部を補助する要綱を施行。 人と環境にやさしい農業及び地産地消を推進する「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度の運用開始。 地下鉄東西線可動式ホーム柵は、南郷7丁目の中線ホームに、試験ならびに教習用としても活用する目的で、3月末に先行設置。 東消防署警防課札苗出張所に救急隊1隊を配置し、同出張所に消毒室を設置。 携帯電話等から119番通報された際、携帯電話基地局や人工衛星などを利用して、おおよその発信位置を特定し、速やかに消防車や救急車を出動させるシステムを導入。 救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務を充実。</p>	<p>衛生研究所2F結核検査室及び前室(66㎡)を、三種病原体取り扱い施設に適合するように、インターロック構造及び実験室内の作業を監視できる構造を保有した施設に整備。 民間建築物の所有者が行う吹付けアスベストの分析調査1件への費用の一部補助。 「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度の運用。 さっぽろオータムフェストへの参加等による、地産地消を基本とした地元農産物の流通、消費拡大の推進。 地下鉄東西線ホーム柵は、平成20年9月上旬から設置を開始し、21年3月末までに東西線全19駅への設置を完了。 消防ヘリコプター1機を購入。 救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務の充実(追加講習の継続実施、医療器材及び薬剤の配置)。</p>
	21年度(実績)	22年度(実績)
	<p>民間建築物の所有者が行う吹付けアスベストの分析調査や除去等工事(分析調査7件、除去等工事4件)への費用の一部補助。 「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度の運用。 消費者や実需者のニーズに合った魅力的な農産物の生産普及。 救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務を充実(追加講習の継続実施、医療器材及び薬剤の配置)。</p>	<p>民間建築物の所有者が行う吹付けアスベストの分析調査や除去等工事(分析調査7件、除去等工事5件)への費用の一部補助。 「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度の運用。 消費者や実需者のニーズに合った魅力的な農産物の生産普及。 救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務を充実(追加講習の継続実施、医療器材及び薬剤の配置)。</p>

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題	3	日常の身近な暮らしの安心の確保				
主な施設、サービスの整備水準						
施設(サービス)名	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
地下鉄可動式ホーム柵設置		0駅(1ホーム)	19駅			19駅
救急隊	30隊	31隊				31隊

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	3	日常の身近な暮らしの安心の確保
評価(成果)		課題
施策1 地域での防火・防犯対策 「教えて!ファイヤーマン」事業をほとんどの市立小学校で実施し、児童や児童の家族などの防火防災意識の向上に一定の効果あげている。 また、「札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等に関する条例」を施行するとともに、基本計画を策定し、その他の事業としてパネル展や出前講座の実施により、多くの市民に対し、理解増進及び防犯意識の高揚を図ることができたほか、薄野地区への各種取組により、安全で安心な薄野をアピールすることができた。 このほか、子どもを犯罪から守る取り組みなど、地域の安全を地域で守るための事業を展開した。		
施策2 日常の暮らしの安心 感染症法の改正に合わせた安全な実験施設とするため、衛生研究所にインターロック構造及び実験室内の作業を監視できる構造を保有した施設を整備した。 食品の安全性を確保するため、地産地消を基本とした「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度を運用し、認証制度の普及定着を重点的に行った結果、目標を超える155戸の生産者を認証した。 このほか、地下鉄走行路面への乗客の転落防止等を図るために東西線全19駅にホーム柵を設置し、転落及び列車との接触事故防止に効果を発揮しているほか、救急救命の充実を図るため、救急業務の高度化を継続して進めている。 建物所有者のアスベスト対策では、補助事業の周知啓発を継続して行い、これまでに分析調査15件、除去等工事9件の補助を行った。		
今後の重点取組 防火・防犯等について、より効果的な市民への普及啓発に努めるとともに、事業の実施において地域との連携を深め、「地域の安全は地域で守る」ことができるよう施策を展開していく。		

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街														
重点課題	3	日常の身近な暮らしの安心の確保														
成果指標等の動向																
項目1	日常生活において、身近な犯罪に対する不安感を抱いている市民の割合(単位:%)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>72.9</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>72.2</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>58.9</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>59.1</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>57.8</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>			年度	割合(%)	H18 (現状値)	72.9	H19 (実績)	72.2	H20 (実績)	58.9	H21 (実績)	59.1	H22 (実績)	57.8	H22 (目標値)	60
年度	割合(%)															
H18 (現状値)	72.9															
H19 (実績)	72.2															
H20 (実績)	58.9															
H21 (実績)	59.1															
H22 (実績)	57.8															
H22 (目標値)	60															
<p>[実績値の推移に係る検証] 地域における防犯の取組が徐々に広がりを見せている</p>																
項目2	人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)(単位:件)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>出火率(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table>			年度	出火率(件)	H18 (現状値)	4.2	H19 (実績)	4.0	H20 (実績)	3.8	H21 (実績)	3.6	H22 (実績)	3.3	H22 (目標値)	4.0
年度	出火率(件)															
H18 (現状値)	4.2															
H19 (実績)	4.0															
H20 (実績)	3.8															
H21 (実績)	3.6															
H22 (実績)	3.3															
H22 (目標値)	4.0															
<p>[実績値の推移に係る検証] 住宅用火災警報器の義務化などの要因で着実に推移している</p>																
項目3	地域防犯活動に参加している人の割合(単位:%)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>16.9</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>20.5</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>20.4</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>			年度	割合(%)	H18 (現状値)	12.9	H19 (実績)	未実施	H20 (実績)	16.9	H21 (実績)	20.5	H22 (実績)	20.4	H22 (目標値)	17
年度	割合(%)															
H18 (現状値)	12.9															
H19 (実績)	未実施															
H20 (実績)	16.9															
H21 (実績)	20.5															
H22 (実績)	20.4															
H22 (目標値)	17															
<p>[実績値の推移に係る検証] 安全で安心なまちづくりを進めると意識の着実な浸透がみられる</p>																
項目4	救命講習の受講人員(単位:万人)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受講人員(万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>H19 (実績)</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>H20 (実績)</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>H21 (実績)</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>H22 (実績)</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>			年度	受講人員(万人)	H18 (現状値)	19	H19 (実績)	22	H20 (実績)	24	H21 (実績)	28	H22 (実績)	30	H22 (目標値)	29
年度	受講人員(万人)															
H18 (現状値)	19															
H19 (実績)	22															
H20 (実績)	24															
H21 (実績)	28															
H22 (実績)	30															
H22 (目標値)	29															
<p>[実績値の推移に係る検証] AEDの講習など、年間27,000人規模の受講規模となっている</p>																
項目5																
<p>[実績値の推移に係る検証]</p>																
項目6																
<p>[実績値の推移に係る検証]</p>																
成果指標等から見た重点課題の評価																
全ての成果指標について目標値を達成しており、各関連事業の成果が見られる。 今後についても、地域と協働しながら防火・防犯等の対策を進めていく必要がある。																